TALI SHAROT

Neuroscientist and Leading Expert on Human Decision-Making, Optimism and Emotion

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Author
- Leadership
- Strategy
- Wellbeing
- Women

タリ・シャロット博士は、人間の意思決定、楽観主義、感情に関する第一人者です。彼女は本職は神経科学者ですが、シャロット博士は心理学、行動経済学、神経科学の研究を組み合わせて、私たちの決断、信念、将来の不正確な期待を形作る力と、それらがどのように変更される（または維持される）かを明らかにしています。

マサチューセッツ工科大学の客員教授であり、感情脳研究室を所長するユニバーシティ・カレッジ・ロンドンの認知神経科学准教授でもあるシャロット博士は、幸福を高める行動変化を促進する方法を特定することを目的として、そのような質問に答えることに専念しています。

タリ・シャロット博士は、The Influential Mindと『The Optimism Biasの著者です。どちらも英国心理学会書籍賞を受賞した。楽観主義バイアスとは、未来は過去や現在よりもはるかに良くなるという信念です。そして私たちのほとんどはこの偏見を示しています。神経科学者のタリ・シャロット氏は、その理由を知りたいと考えています。私たちの脳の何が、ポジティブなことを過大評価してしまうのでしょうか?彼女は著書The Optimism Bias: A Tour of the Irrationally Positive Brainでこの疑問を探求し、興味深い結論を示す社会科学と神経科学の両方の調査結果をレビューしています。「私たちの脳は過去に刻印されているだけではありません。彼らは常に未来によって形作られ続けています。」彼女自身の研究では、人間の生来の楽観主義が実際に私たちの記憶をどのように形作るかに興味を持っており、彼女の興味深い範囲の論文には、行動研究 (重要な出来事を誤って記憶する可能性) や医学的発見 (世界の場所を探すなど) が含まれています。楽観主義が生きる脳。

彼女の論文は、NatureScienceNature Neuroscience などの一流科学雑誌に掲載されています。この作品は、ニューヨーク　タイムズ、ワシントン　ポストCNNBBC　などの多くの媒体で特集の対象となっています。彼女はタイム（カバーストーリー）、ニューヨーク・タイムズ、ガーディアンなどにエッセイも執筆しています。

シャロット博士の研究は、企業がリーダーシップスキルを向上させ、メッセージングを再考し、戦略を洗練するために利用してきました。彼女は TED の年次会議2012で講演者を務め、英国アカデミーとウェルカム トラストからフェローシップを獲得しました。彼女はニューヨーク大学で博士号を取得しました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988